

令和3年度 釜石市立鶺住居公民館運営結果

I 運営方針・重点目標

1. 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

令和3年度は、東日本大震災から10年が経過し地震等の自然災害に備えた防災、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、新しい生活様式の下、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2. 重点目標

- (1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮らすことができるような事業展開に努める。
- (2) 地域住民の各世代のニーズに応え、事業実施に努める。
- (3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業実施に努める。
- (4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。
- (5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業報告

1. 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鶺住居子育て広場	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	保健講話、計測(身長・体重)、おもちゃ遊びなど 〔時期〕6/24(木) 6人(親3人、子3人) 〔場所〕鶺住居子育て支援センター 〔対象〕未就学児と保護者
	【成果と課題】コロナ禍の影響で年3回開催予定が2回中止したが、個別の栄養相談を三密回避しながら1時間に3組ずつ対応した。栄養相談時に初めて子育て支援センターを利用した方がいたが、その後も継続的に利用している。		

2. 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	わんぱく子ども教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	〔時期〕①8月11日(水) 10人 工作講座 ②1月14日(金) 廃プラスチックからSDGsを学ぼう

			う！廃プラアートづくり 12人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 小学生
	【成果と課題】 釜石地方森林組合、株式会社マリンエナジーの協力を得て事業開催した。多数の児童参加を得たほか、学年を超えた交流を促すことが出来ている。紙媒体以外での周知方法も行ったところ、鶴住居地区以外の保護者等を経由し児童の参加があったことから年齢層を考慮した周知方法の展開と共に、多方面の協力を得ながら事業継続する。		
	釜石東中学校 学習サポート	目標に向かって学び続ける土壌を育むため、受験対策を目的とする学習機会を提供する。	〔時期〕 ①夏休み（7/26（月）、7/27（火）、7/30（金）、8/2（月）～8/6（金））参加者延29人 ②冬休み（1/4（火）～1/7（金））参加者延9人 〔場所〕 鶴住居公民館、釜石東中学校 〔対象〕 釜石東中学校生徒
	【成果と課題】 夏季開催に係る7月開催時は1、2年生の希望者を参加対象としたが1年生の参加は無かった。（2年生参加者延10人）冬休みは受験対策を中心に3年生を対象に開催。（一社）子どものエンパワメントいわてに講師派遣をしていただき、講師から丁寧な指導を受け勉学に励んでいた。アンケート結果から大抵の生徒は、今後も継続を望む声は多くあったが部活等で参加率が低い。学習機会の環境も震災直後と大きく変化していることから、事業内容、開催方法等見直しをはかる。		

3. 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び高齢者の健康づくり	各種健診等の推進	健康教室等の事業や公民館だよりに啓発記事を掲載し、各種がん検診、特定健診等の受診勧奨や指導を行う。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館等 〔対象〕 鶴住居地区住民
	あつまれ！鶴住居の杜	地域に安定した交流機会をもち、閉じこもり予防、心身の健康と学びの機会を設ける。	〔時期〕 原則毎月1回開催 5/28（木）、6/24（木）、7/29（木）、10/28（木）、11/25（木）、12/23（木）、1/27（木）、2/24（木）、3/24（木） 参加者延103人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	健康教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	①桑の浜健康教室 〔時期〕 3ヶ月に1回開催 5/25（火）、7/20（火）、12/7（火）、2/15（火） 参加者延20人 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区民 ②室浜健康教室

			<p>〔時期〕 2ヶ月に1回開催 ※市：5/12（水）、7/7（水）、12/7（水）、3/9（水）参加者延16人 体育協会：6/2、10/6、2/2 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民</p> <p>③仮宿健康教室 〔時期〕 年1回開催 7/14（水）3人 〔場所〕 鶴住居公民館仮宿分館 〔対象〕 仮宿地区住民</p> <p>④女遊部健康教室 〔時期〕 年1回開催 7/20（水）7人 〔場所〕 女遊部集会所 〔対象〕 女遊部地区住民</p> <p>⑤両石健康教室 〔時期〕 年2回開催 6/14（月）6人、2/14 〔場所〕 両石復興住宅集会所 〔対象〕 両石地区住民</p> <p>⑥白浜すいすい会 〔時期〕 6/16（水）9人 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民</p>
<p>【成果と課題】 各種健診等の推進については、市健康推進課成人保健係と連携し、胃がん健診について積極的な取り組みを行ったが、受診者は横ばいだった。新型コロナウイルス感染拡大により予定開催回数より少ないものもあるが事業開催は出来ている。『あつまれ！鶴住居の杜』は、参加者が来やすいようアンケートに記載された声を参考に開催している他、健康講話、啓発の場となり住民同士の交流、学びの事業となっている。</p> <p>健康教室は、公民館に来館することが難しい地区を対象に、保健師や専門職の協力を得て開催している。参加者は地域の健康づくりの中心的な役割を果たしている。（実績は公民館職員が参加した回的人数）また、釜石市の健康課題について講話することができた。本年1月から明治安田生命と市が包括連携協定を締結したので健康増進の一助となるよう連携しながら事業継続を図る。</p>			
おさんぽの会	健康づくり・生活習慣病等の知識の啓発及び運動機会を提供する。	<p>〔時期〕 毎週火曜日 参加者延145人 （1月末現在） 〔場所〕 長内集会所近辺 〔対象〕 鶴住居地区住民</p>	
<p>【成果と課題】 今年度も引き続き公民館職員による事業と自主活動としての活動を組み合わせて開催。（実績は公民館職員が支援した計11回の合計人数。）参加者数は昨年度より増加しており健康に対する意識向上があると思われる。自主活動時も、昨年度は一部の参加者に負担が掛かっていたところがあったが、今年度は会員内で負担にならない様に留意しながら主体性を持った活動ができています。今後も、完全な自主活動化を目指しつつも会員の不安解消が出来る様に支援する。</p>			

	<p>各種百歳体操の会</p>	<p>100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。</p>	<p>①鵜住居復興住宅2号棟 イケイケ会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 鵜住居復興住宅2号棟集会所 〔対象〕 鵜住居復興住宅2号棟の周辺住民</p> <p>② 箱崎地区 ほっぴすてっぴくらぶ 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 箱崎集会所 〔対象〕 箱崎地区住民</p> <p>③ 片岸きらきらクラブ 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 片岸集会所 〔対象〕 片岸地区住民</p> <p>④いざいき鵜住居 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民</p> <p>⑤桑の実クラブ 〔時期〕 毎週金曜日 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区住民</p> <p>⑥ニコニコ室浜 〔時期〕 毎週火・金曜日 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民</p> <p>⑦白浜すいすい会 〔時期〕 隔週水曜日 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民</p> <p>⑧川目笑生会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 川目集会所 〔対象〕 川目地区住民</p>
	<p>【成果と課題】 昨年度からコロナ禍が続いているが意欲的に活動している。口腔ケアの体操を提案し各百歳体操に周知活動を行ったが、取り入れている団体が少ない。口腔ケアから認知症予防への周知を再度行い、健康で充実した生活が送れるよう支援する。また、本年1月から明治安田生命と市が包括連携協定を締結したので健康増進の一助となるよう支援する。</p>		
<p>芸術文化活動の推進</p>	<p>ふるさと探訪</p>	<p>地域の自然、歴史や文化を知り、地域の資源を再認識する機会を提供する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p>
	<p>【成果と課題】 新型コロナウイルスの収束が見通しは難しく、住民の健康と安全を守ることを優先し中止した。来年度は感染対策を行った上で、市内から地域資源を再認識する機会を提供できるよう努める。</p>		
	<p>鵜住居交流講座</p>	<p>地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。</p>	<p>手芸や工芸などの幅広い分野の講座を開催する。 〔時期〕 ①7/29（木）ちぎり絵講座 ① 14人</p>

			<p>②11/4（木）ちぎり絵講座 ② 7人 ③3/25（金）野菜くずで染物体験講座 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民</p>
	<p>【成果と課題】 別事業に参加した声から開催した。講師の希望もあり2回開催したが、住民のニーズはあったものの1回目開催時に難易度の高さから2回目参加者数が減少した。ニーズと難易度のバランスを考慮し3月に染物体験講座を開催予定。</p>		
	出張公民館事業	鶴住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
	<p>【成果と課題】 新型コロナウイルスの収束が見通しは難しく、希望地区関係者と協議し、住民の健康と安全を守ることを優先し中止した。昨年度から開催を希望する地区では教育旅行を希望しているので、再度協議し可能な範囲で事業実現したい。また、他地区についても事業周知し事業展開をする。</p>		
	鶴住居の歴史を語る会	昔の鶴住居を思い出し語り合うことで、参加者の交流を図るとともに、重要な歴史資源を残し、語り継いで行く。	<p>〔時期〕 ①10/28（木）国史跡屋形遺跡の価値 9人 ②12/9（木）鶴住居の城館と戦い 9人 ③2/28（月）開催予定 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民</p>
	<p>【成果と課題】 市内の歴史を再認識し、講師と参加者、参加者同士が学び合う場となっているが、探求心が強い方の参加が多い。座学だけにせず、現地で体験学習の開催等検討する。</p>		
男女共同参画の推進	男の手料理教室	男性の交流機会の一つとしながら、健康づくりや食生活の改善を進めることを目的とする。	<p>講師による指導と自主活動を隔月で行う。 〔時期〕 4/7（水）、5/12（水）、6/2（水）、7/7（水）、8/11（水）、10/6（水）、11/10（水）、12/8（水）、1/12（水）、2/2（水）、3/2（水）参加延人数66人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の男性</p>
	<p>【成果と課題】 今年度は、5月に地域会議長から包丁研ぎを学び、1月に小島製菓等の協力をいただき餅つきを行う等、食に関する様々な学びも含め開催した。9月はコロナ禍の影響で中止したが毎月開催できている。昨年より参加者が料理以外にも買い出し等を行うようになった。参加者の不安要素をサポートし、参加者同士で支え合いながら出来ることが増えるよう支援する。</p>		
高齢者の生きがいづくり	実年ひろば	年間で複数回の学習内容を自ら決定して自主的な生涯学習活動に取り組むものとし、住民同士の交流や、生涯学習意欲の向上に資する	<p>手芸・料理など「趣味による生きがい」づくりにつながる講座を開催する。 〔時期〕 ①4/23（金）スカットボール 21人</p>

		ことを目的とする。	②11/12（金）お正月リース制作 20人 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居地区の女性
【成果と課題】 会員内で企画立案、事業運営等を積極的に行うことが出来る。今後も会員内で自主的に取り組むことができるようサポートする。			

4. 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化の推進	うのすまい 公民館まつり	公民館利用団体の発表の場とし、鶺住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
	【成果と課題】 開催に向けどのようにすれば行えるか協議をしたが、月日が経つと新種株が出てきて住民も慎重になっていることから開催を中止した。コロナ禍での開催方法を検討する。		
交流の場の創出	鶺住居公民館・ 栗橋公民館交流 事業	手芸・工芸体験教室やニュースポーツ運動会を通じて、隣接する両地区の住民の交流・親睦を深める。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催見送り
	【成果と課題】 今事業を事業計画時に開催見送りとし、今後今事業を開催出来るか検討したが、鶺住居住民は参加申込率が高いが、栗橋住民の参加申込率が低く職員が個別に声掛けを行わないと事業化が難しいと意見が出た。 来年度は栗橋公民館に限らず、市内公民館内で交流事業が行えるよう事業内容を見直す。		
	鶺住居 地域交流会	新たな地域に定着した事業を目指し、幅広い年齢層を対象として交流を図る。	鶺住居小学校を活用し交流会を行う。 〔時期〕 12/3（金）ポッチャ交流会 63人（鶺住居小学校1・2年生47人、住民16人） 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居地区住民
【成果と課題】 2年ぶりの開催できた。例年、昔遊びを住民が小学生に教えることが多かったが、今年度は東京オリンピックパラリンピック開催したことにちなみ、市社会福祉協議会に協力いただきポッチャを開催。久しぶりの交流会で住民も小学生もポッチャを楽しんでいた。来年度もコロナ感染対策を行った上で交流会開催を検討していく。			
防災や生活環境に関する学習	【新規】 鶺住居 防災学習	自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。	〔時期〕 3/7（月） 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居地区町内会長
	【成果と課題】 市防災危機管理課を講師に『自主防災組織について』学習講座を開催予定。		

5. 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年（年末年始も貸出） 〔対象〕 生涯学習活動が目的の団体・個人等

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕 5/14（金）、2/25（金） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 公民館運営審議委員
	サークル代表者会議	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕 7/15（木） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとりの発行	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。 〔時期〕 毎月1回 15日発行 〔対象〕 鶴住居地区住民
	自主サークル活動支援	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	登録団体：13団体 〔活動時期・内容・活動場所〕 別紙のとおり
	鶴住居地域会議との連携	鶴住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携しまちづくりを進める。	〔時期〕 3/7（月） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 地域会議構成員
	【成果と課題】 公民館事業との連携としては、「釜石東中学校学習サポート」事業で連携して取り組んだ。子どもたちの育成という面で今後も継続が望まれる事業となるため、事業内容を見直しながら取り組むことが期待される。3/7（月）に、鶴住居防災学習と共同開催し地域会議を開催予定。		
	ボランティア団体等の受入	関係団体と連携し、各種のボランティア団体を受け入れ、地域を支援する。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】 今年度は大阪府立堺工科高校による包丁研ぎのボランティア活動		

	の受入れのほか、音楽の力によるコンサート、釜石まちづくり株式会社による落語会、みやこ映画生活協同組合による映画上映会に協力し事業開催した。今後、コロナ禍が終息すれば徐々にボランティア団体の受け入れもあると思われるので、希望に応じて検討していく。
--	--

7. 事業評価

- ① 事業評価と今後の課題
- ② 評価の手法

公民館主催事業・共催事業（保健事業）については、運営計画の目標を基準に以下の項目で評価する。

目標番号	評価項目	評価指標①	評価指標②	評価指標③
①	普及・啓発	講座開催数	参加者数	—
②				世代別の講座数
③				地域会議共催活動
④	団体の活性化	登録サークル数	活動参加者数	—
⑤	他団体との連携	連携団体数	連携した事業	—

- ③ 各評価項目の達成比率

評価基準	令和2年実績	令和3年実績	増減率
講座開催数(主催分)	61回	50回	82%
参加者数(人数/1回)	13.7人	10.5人	77%
子ども世代の講座数	16回	15回	94%
大人世代の講座数	45回	35回	78%
地域会議共催活動	12回	12回	増減なし
登録サークル数	12団体	13団体	108%
活動参加者数(人数/1回)	8.2人	7.8人	95%
連携団体数	8団体	11団体	138%
連携事業数	7事業	8事業	114%

《変動の要因》

- ①講座開催数について

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う貸館停止、講座の中止、開催調整が生じたことが要因。

- ②参加者数について

- ・参加者数の取り方は、「子育て広場」、「わんぱく子ども教室」、「釜石東中学校学習サポート」「あつまれ！鶴住居の杜」、「おさんぽの会」、「ふるさと探訪」、「鶴住居交流講座」、「出張公民館講座」、「歴史を語る会」、「実年ひろば」、「男の料理教室」、「鶴住居栗橋交流事業」、「鶴住居防災学習」の平均値で算出している。

- ③地域会議活動について

例年共催している「釜石東中学校学習サポート」に協力を得て実施。（回数を日数として算出）

④登録サークル数について

- ・11月に新しく『社交ダンスを楽しむ会』が登録したことによる増加が要因。

⑤連携団体、連携事業数について（主な連携先）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う貸館停止、開催調整が生じたことが要因。

- ・「わんぱく子ども教室事業」…鵜住居小学校、釜石地方森林組合、株式会社マリンエナジー
- ・「釜石東中学校学習支援サポート」…釜石東中学校、（一社）子どものエンパワメントいわて
- ・「各種健康教室」…釜石市体育協会
- ・「おさんぽの会」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- ・「男の手料理教室」…(有)小島製菓
- ・「実年ひろば」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- ・「あつまれ！鵜住居の杜」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、釜石まちづくり株式会社、みやこ映画生活協同組合、社会福祉法人岩手徳栄会（三峯の杜）
- ・「鵜住居地域交流会」…鵜住居小学校、社会福祉法人釜石市社会福祉協議会